

日時・場所	令和6月11月18日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	櫻本市長、北脇教育長、北脇議会事務局長、布施政策調整部長、川尻総務部長、中塚市民部長、井出健康福祉部長、井狩健康福祉部政策監、駒井健康福祉部政策監、岡崎都市建設部長、西村環境経済部長、田中教育委員会部長、事務局

1. 開会

【市長挨拶】

- ・野洲学区の行政懇談会に出席した。懇談会では、職員によって市民からの問い合わせに対するレスポンスに差があるという話をいただいた。問い合わせをしっかりと受け止めたという姿勢を明確に示したうえで、丁寧に対応するということを改めて心掛けること。併せて、問い合わせの内容に応じて他課と情報共有し、市全体として横断的に対応するということを改めて意識すること。また、懇談会のあり方についてより議論ができるような形での運営を求める声もあったので、市民部で改善の余地があるか検討すること。
- ・コミセンやすについては、検討状況等を早期に示していきたいと考えている。
- ・市の職員のチャレンジする機運を高めるためにも、現場にある程度の裁量を委ねるような体制が必要という声もあり、そういった配慮が必要であると感じた。
- ・三上学区の悠紀まつりに参加した。コロナで5年ぶりの開催で、コミセンもリニューアルされ、非常に多くの方が参加されていた。こういったイベントの場合は、市民が自己表現を行う貴重な機会であり、その重要性を改めて感じた。
- ・20周年記念式典について、今後の本市政の機運の醸成に繋がる内容であり、関係の皆さんには執り行えたことに感謝する。中でも福永凌太選手のコメントが印象的で、今後の行政運営のヒントになるものではないかと感じている。来賓の方等にお会いする機会があれば、お礼をお伝えいただければと思う。

2. 議題

【報告事項】

①令和7年度野洲市予算編成方針について

令和7年度野洲市予算編成方針について報告する。

<共有>

- ・他市のような想定予算規模(額)の公表について、本市の事情や他市の状況を確認した上で、その可否を検討する。
- ・ふるさと納税については、今年度から半分を経費に充当、残りを基金への積み立てという形としている。

<意見>

- ・ふるさと納税の収入を「臨時的収入」と定義付けて、経常的な経費に充当することを本来としない考え方がある。また法定制度であり、本市の返礼品の特性や、基金積立現額に照らすと、経常的な収入として認識して財政状況を評価してもよいと考える。それらの是非について機動的な議論が必要ではないか。

②令和6年第6回野洲市議会定例会提出議案について

令和6年第6回野洲市議会定例会に、補正予算7件、条例制定・改廃3件、その他3件、人事案件1件を提出する。

<共有>

・追加提案がある場合は、まずは会派への事前説明など丁寧に行うこと。

③第三期野洲市子ども・子育て支援事業計画(案)に係るパブリックコメントの実施について

第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画が、今年度で終期を迎えることに伴い、この度、第三期野洲市子ども・子育て支援事業計画(案)(令和7年度～令和11年度)を策定したので、広く市民から意見を募集するためパブリックコメントを実施する。

<共有>

・子ども・子育てに関する市の施設整備等にあたり、当計画が交付金を対象とするための根拠のひとつとなるため、庁内で情報共有しながら策定を進める。
・別途、教育等の分野も横断的に踏まえた、子ども基本法に基づく「子ども計画」の策定も検討しているところである。

<意見>

・当計画の内容は、今後の市政の方針を定める重要な計画である。市長交代直後のため、市長との特に入念な協議が必要では。
・学童保育所の運営について、担い手の多様化などを利用者の声や本市の事情などを踏まえながら継続検討するべきではないか。

④野洲市商工会要望書に係る回答及びイオンビッグ株式会社の期間延長申入れに係る対応状況について

令和6年9月20日付けで野洲市商工会より提出のあった要望書「事業用借地権設定契約土地(現イオンタウン野洲)に市庁舎を移転する件」に係る対応について、報告する。

<共有>

・市としては、現在の総合計画を踏襲するという考え方を説明する方針。
・当該土地の契約期間延長について前回議会で報告後、当要望書の提出があったため、市の考え方を改めて全員協議会に報告するもの。

⑤全員協議会への提出事項について

令和6年11月21日(木)開催の全員協議会へ報告事項3件、連絡事項1件を提出する。

→特に意見・議論等はなかった。

3. 次回部長会議の予定

11月25日(月)9時00分～ 庁議室

※ 案件がある場合は11/22(金)正午までに所定のフォルダへデータの提出願う。

4. 閉会